

2022年度 サポートシステムあゆみ 放課後等デイサービス自己評価表

		項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・ 体制に ついて	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			人数が多い時は配置の工夫やプログラムを2部制にする等してスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			児童の特性に応じた支援ができるよう配置している。
	3	事業所の設備等の安全について常に配慮しているか		<input type="radio"/>		一度、児童が怪我をする事があり、安全対策について再考し、実施している。
業務改善	4	業務改善を進める為のPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		<input type="radio"/>		課題がある時によく話し合っているが、振り返りが十分にはできていない場合がある。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			
	7	第三者により外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	法人で検討中。
	8	職員の資質の向上の為に、研修の機会を確保しているか		<input type="radio"/>		外部研修の受講・資格取得を勧めているが、内部研修は例年より少なかった。より計画的に進めていく。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			
	10	子どもの状況を把握する為に、アセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		来年度、新たなアセスメントツール作成に向けて検討する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			曜日毎の活動テーマに沿って担当スタッフがチームで立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			コロナ禍で調理ができない事も多かったが、様々な体験ができるよう工夫している。
	13	平時・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			平時、長期休暇それぞれに応じた活動を行っている。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			集団で行うプログラムの時間と個別に活動できる時間を設けている。	

		項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点
適切な支援の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、支援の内容や役割分担について確認しているか	○			細かく話し合いをしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			送迎や勤務時間の違いもあり全員での話し合いは難しいが、職員間で話したり日誌や個人記録等の書面に残したりして共有するようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			客観的事実を記録し、共有すべき情報は特記事項として記録している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談支援員を通じて情報共有させて頂いている。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			積極的には行っていないが、担当者会議がある場合は参加して情報提供している。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			作業療法士に訪問してもらい、助言を頂いた
	25	地域の人たちや、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	コロナ禍という事もあり機会を持たなかった。
	26	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	○			奈良市障がい児通所支援連絡協議会の活動に参加・協力している。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通の理解を持っているか	○			
28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		ペアレント・トレーニングは実施していないが、必要に応じて相談・助言をしている。	

		項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	30	保護者からの相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	コロナ禍で実施していいなかったが、保護者アンケートでも希望があり、次年度は感染状況が落ち着いていれば交流会等を実施計画する。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	34	個人情報の取り扱いに際し、守秘義務を遵守しているか	○			
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ禍で実施していない。 今後、ボランティアの受け入れ等を検討している。
非常時の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		各マニュアルの内容を再検討し、周知していく。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っているか		○		避難訓練を実施したが、時期が遅れている。 計画的に実施できるように徹底し、保護者にも状況を報告し、協力をお願いする。
	39	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		一度、誤ってアレルギー物質を含む食品を提供してアレルギー症状を起こさせてしまう事があった。以降、管理方法を改め徹底している。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			